



いそまち

### 磯町の自然を守る会（栃木県鹿沼市）

- 本地域は、鹿沼市の南部に位置し、農業法人を中心に水稻を作付しているほか、いちごの栽培が盛んです。
- 自治会を中心として、農業者、非農業者、子ども育成会等の地域内の各種団体への呼びかけにより、平成26年度から多面的機能支払交付金の取組を開始しました。
- 取組を通して耕作放棄地の発生抑制が図られ、世代を超えた地域の交流が盛んになるなど、地域住民の農業への関心が高まり、農村の地域コミュニティが復活してきました。

### 【地区概要】

- ・取組面積：62.2ha  
(田 56.8ha、畑 5.4ha)
  - ・資源量：開水路 14.6km  
農道 18.7 km
  - ・構成員：農業者、非農業者、自治会、子ども育成会ほか
  - ・交付金：約2.8百万円
- 〔 農地維持支払  
資源向上支払(共同) 〕

### 地域の活動内容

- 年に30回ほどの草刈り、泥上げを実施し、構成員の参加率はほぼ100%となっています。
- 農業用水路の保全については、参加者の5割が女性です。



草刈り作業



泥上げ作業

### 地域の若者との連携

- 地域の若者で構成される「磯GO!みらいの会」の若者たちや子ども育成会等と連携し、田んぼアート、ビオトープ観察会、生きもの調査、植栽活動など多様な活動を実施しています。
- 「磯GO!みらいの会」のうち、数名を多面的機能支払の活動組織の構成員として、後継者を育成しています。



植栽活動



生きもの調査



### 取組の効果

- 田んぼアート、植栽、生きもの調査、さつまいも収穫祭など、自治会等を巻き込んだ活動を実施することで、地域住民全体の地元への関心・愛着心が高まり、地域の活性化にもつながっています。
- 「磯GO!みらいの会」をはじめ地域の若者との良好な連携により、後継者を育成し、将来的な持続性を確保しています。



田んぼアート



耕作放棄地を活用したコスモス畑



さつまいも収穫祭